

# 青森県小学校教育研究会 理科部会

青森県小学校教育研究会理科部会長

青森市立浜田小学校長 柴田 一宏

昨年度（令和2年度）、青森市では、授業研究や研修会が、従来の方法での実施が困難な状況にありました。しかし、部会員の皆様のおかげで、冬季研修会、サイエンス教室等のイベントを実施することができました。尽力していただいた部会員の皆様には心から感謝申し上げます。また、県大会として実施している児童生徒理科研究発表大会でも、県内各地から42件の研究発表が行われ、盛会のうちに終えることができました。県内各地の関係者の皆様の努力に感謝申し上げます。

さて、令和3年度も、新型コロナウイルス感染症への対策をしながらのスタートとなりました。新学習指導要領の完全実施2年目にあたる今年度は、実り多き年度にしたいと、全国の先生方が思っているに違いありません。しかし、現時点ですでに多くの研修会、大会、イベントが従来の形で実施されていない状況です。理科部会に限らず多くの部会で制限された中での活動となっています。これも「予測不能な未来への対応力」を問われているのではないかとさえ感じてしまいます。

予測不能な未来に対応するための一つ的手段として、ICTがあげられると思います。子供たちはICT機器の操作について、スポンジのように、どんどん吸収していきます。そんな子供たちに頼もしさを感じる反面、理科の学習は「自然に親しむ」ことから始まることを、私たち理科教育に携わる人間は肝に銘じる必要があると感じています。さらに、AIがどれだけ進化し思考できるようになったとしても、不思議さに心を振るわせる感性は、失ってはならない大切なものだ、こんな状況だからこそ実感しています。この感性が、ICTに並んで、予測不能な未来に対応できる一つ的手段だと信じています。

コロナ禍の中、理科教育で、今できることを模索しながら、どんな状況下でも、自然に親しむ体験を充実させ、子供たちの感性を育むための努力をしていきたいと思っています。